

平成 25 年度事業計画書  
平成 25 年 4 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人遠野まごころネット

1 事業実施の方針

遠野まごころネットは、設立の趣旨である「被災地復興支援」と「風土を生かした地域づくり」を掲げ、被災者の見守り、寄り添い活動、地域コミュニティづくりサポート等事業を今後も継続していきます。

この震災の風化を防ぎ、今後の減災や迅速な復興のため、復興支援マニュアルの整備、復興支援団体のネットワーク化、情報発信等を行うと同時に、風土を生かした地域づくりを推進するために各種の企画やイベント等も展開して行きたいと思えます。

現在は被災地でのガレキ撤去のような事業が減少し、新たな段階を迎えています、前年度の成果も踏まえ、人材の活用や地域資源を有効に活かし、被災地での雇用の場を確保する起業や被災者の雇用にシフトしていく必要があります。

具体的には、助け合いセンターの運営、障害福祉サービス事業、6次産業化事業を導入した餃子工場の立ち上げなども行っていきます。

また、自然に目を向けた観光の掘り起し、自然エネルギーの活用する事業にも取り組んでいきます。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の 事業名	事業内容	時期	場所 地域	従 業 者 数	対象範囲 予定人数	支出見 込額 (千円)
被災者支援 のための情 報収集、発 信、対個人、 対社会支援、 基金創設事 業	被災地、被災者への復興支援活動の企画立案および遂行  (インターネット等による情報提供・交流、ボランティア派遣、支援物資運搬、産業再生・復興企画立案とアドバイザー等 他)	通 年	岩手県及 び三陸沿 岸被災地	12	岩手県沿岸被災地の各市町の被災者 (不特定多数)	55,000
	総合相談支援事業  自殺予防や被災者のメンタル・ケア、遠野市の自然資源を活かしたプログラムの企画立案および遂行  助け合いセンターの運営					30,000
支援活動の ノウハウを 蓄積し、自然 災害時に生 かすマニユ アル作成事 業	支援活動から得られるノウハウの蓄積ならびに今後の自然災害時の支援活動に活かせるマニュアル策定					2,000

支援団体間の交流連携のためのネットワーク構築事業	被災者、支援者間の交流促進及び支援者同士の連携を図るネットワークづくり(まごころネットワーク)			3		10,000
自然資源調査・活用事業	アウトドア・ワールド事業 遠野市の自然資源を調査し、観光その他に活かせるプログラムの企画立案および遂行	通年	遠野市	2	広域	1,950
	遠野の風土と観光を考える会事業 観光産業の振興も視野に入れた遠野市の自然資源の維持・保全の推進(自然エネルギーの活用)	通年	遠野市他 周辺地域	2		5,000
指定障害福祉サービス事業	障害福祉サービス事業所の運営	通年	釜石市・大槌町・遠野市	6	釜石市・大槌町・陸前高田市	20,000
介護保険事業	介護保険事業のうちディサービス事業の運営	通年	釜石市・大槌町	2	釜石市・大槌町	2,700
無料及び有料職業紹介事業	無料(有料)職業紹介事業の運営	通年	釜石市・大槌町	2	釜石市・大槌町	5,000
農林水産物の生産加工および販売事業	6次産業化事業の導入と餃子工場の開設運営(農園管理、餃子工房等)	通年	大槌町	5	釜石市・大槌町・陸前高田市	25,000
一般及び貨物軽自動車運送事業	被災地の仮設住宅等に住む高齢者等の買い物支援のための運送業運営	通年	釜石市、大槌町 遠野市	3	釜石市、大槌町 遠野市	6,000
被災地支援物品販売事業	復興支援Tシャツ、タオル等販売	通年	事務所	1	広域	8,950
旅行業法に基づく旅行事業	観光客の増員をはかる。 被災地で「語り部」を養成、復興支援ツアー等を企画し、風化防止に努める。	通年	岩手県沿岸被災地等	2	岩手県沿岸各市町及び全国各都市	5,000
					支出見込金額 (千円)	176,600

## (2) その他の事業

今年度予定なし